

糖尿病に力を入れて

以前より当院では糖尿病の患者さんの診療に力を入れて来ましたが、本年は、一層力を入れてゆきたいと考えます。



1. 経過を良く調べる

糖尿病は長い病気です。それにいつ始まったのか分かりにくいこともあります。糖尿病がいつ始まったのか、目、神経、腎などの合併症があるのか、いつ始まったのか、はっきりさせたいと考えています。またかと思われる方もおられるでしょうがご協力下さい。

2. 合併症について

たとえ合併症があっても結局は糖尿病のコントロールを良くしなければならぬので、これまで合併症があるのかどうか、ということをおまわり詳しく診ないで来ました。

幸い腎症が悪化して透析になったり、網膜症で失明したりする人はおりませんが、これからはこういう事にも気を付けて診察して行きたいと考えています。

脳・心臓の血管障害

糖尿病は動脈硬化症を起こし、速める病気です。この方は専門に任せなければならぬ部分が多いのですが、心電図をとったり、神経障害を見たりしながら専門の受診を勧めます。

目の障害



糖尿病で恐いのは、失明することがあるからです。当院にも眼底カメラはありますので、3ヶ月に1回位は、検査しましょう。問題があれば眼科の先生にお願ひします。早く問題を見つけて処置すればたいしたことにならずに済みます。



神経障害



神経障害には知覚障害と運動障害があります。最も早く来るのが下肢の障害です。アキレス腱反射や、膝蓋腱反射、足の振動覚などで調べます。足の感覚がなくなると、足に火傷やひょう疽を生じやすく最後には足を切るようなことが起こります。

フットケア



これまでこの検査はほとんどやっていませんでしたが、今年からはしっかりやってゆこうと考えています。

神経障害は最も長い神経繊維を持つ下肢の神経に起こりやすいのです。足先の温度感覚が悪くなり火傷や傷が多くなりその治りが悪くなったりします。また動脈硬化の結果、足先の血流が悪くなり足の指が1本ダメになったりします。

そういう徴候を速くみつけ治療します。治療が遅くなると脚を切らなければならなくなったりします。

巻き爪や水虫の爪も丁寧に処理する必要があります。こつこつことを糖尿病のフットケアといえます。医師や看護師にご相談下さい。

3. 治療

食事療法



1、2000キロカロリー、
1、4000キロカロリー、
1、6000キロカロリー、
1、8000キロカロリーが中心となります。カロリーの計算は、間違いやすいのとアルコールの問題などがあって難しいので、当院では栄養士の方に特別に来ていただき指導をお願いしています。食事療法が治療の中心です。

運動療法

食事療法、薬物療法がある程度出来て、それに運動が加わると、かなり強い効果があります。

薬物療法

飲み薬
いろいろ薬剤はありますが、昨年より使われだした薬が非常に有効です。

注射インスリン療法

最近のインスリンは、ヒトインスリンを使っていますので非常に有効です。

1月・2月の休診日

休診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜



E・メールを送って下さい。
norikazu@okutu.jp



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。
受付からのお願ひ
月初めには必ず保険証を受付けにお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。
編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。